
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第9週
(2月25日～3月2日)

* 2008年3月5日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年3月6日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年9週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		6週	7週	8週	9週	年累計	9週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							1
	結核	79	52	72	58	580	302	3472
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三 類	コレラ						1	2
	細菌性赤痢			1		10	4	48
	腸管出血性大腸菌感染症			3		6	7	109
	腸チフス					3		7
	バラチフス					1	2	6
四 類	E型肝炎			1		2	1	9
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			3	1	8		35
	エキノкокクス症							4
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1				4		38
	デング熱	1				3		11
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア				1	4		5
野兔病						1	1	
ライム病						1	1	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	3		1		12	7	130	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		6週	7週	8週	9週	年累計	9週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	5	1	4	30	12	128
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1	1	1	6		34
	急性脳炎 **	1		1		5	3	43
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病						3	22
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1	6	2	19
	後天性免疫不全症候群	13	7	6	20	92	19	204
	ジアルジア症				1	3	3	10
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	3
	先天性風しん症候群							
	梅毒		1	4	7	25	18	115
	破傷風					2	2	11
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		2		8	
風しん		3		1	8	6	73	
麻しん	49	56	76	103	388	431	3179	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/3/5集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 58件 肺結核40件、その他18件で、推定感染地は国内53件、不明5件であった。年齢は5歳未満1件、10歳代2件、20歳代5件、30歳代5件、40歳代13件、50歳代8件、60歳代6件、70歳代11件、80歳代7件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地は国内で、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はナイジェリアであった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件 腸管アメーバ症3件、腸管外アメーバ症1件、推定感染地は国内、韓国、インド、オーストラリアが各1件で、推定感染経路は異性間性的接触1件、飲食物による経口感染2件、不明1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地はアメリカ、推定感染経路は異性間性的接触であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群で、下腿の熱傷創から感染したと考えられている。

後天性免疫不全症候群 20件 無症候キャリア13件、AIDS 5件、その他2件で、推定感染地は国内19件、不明1件、推定感染経路は性的接触19件(同性間16件、異性間3件)、不明1件であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はインドで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

梅毒 7件 早期顕症梅毒I期2件、早期顕症梅毒II期4件、無症候梅毒1件、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触5件(異性間3件、性別不明2件)、不明2件であった。

風しん 1件 検査診断例で、20歳代男性。風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

麻しん 103件 麻しん(検査診断例)22件、麻しん(臨床診断例)65件、修飾麻しん(検査診断例)16件で、年齢は10歳未満10件(うち5歳未満4件)、10歳代43件、20歳代37件、30歳代8件、40歳代2件、50歳代3件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し37件、1回23件、2回2件、不明41件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年9週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		6週	7週	8週	9週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	23	15	14	11	0.07	150	150
	咽頭結膜熱	39	19	37	33	0.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	361	307	371	430	2.87		
	感染性胃腸炎	1,589	1,612	1,999	2,006	13.37		
	水痘	176	157	183	185	1.23		
	手足口病	10	5	15	4	0.03		
	伝染性紅斑	22	17	20	19	0.13		
	突発性発しん	105	75	77	92	0.61		
	百日咳	2	0	2	4	0.03		
	ヘルパンギーナ	3	2	2	2	0.01		
	流行性耳下腺炎	29	48	44	37	0.25		
	不明発しん症(注1)	9	5	10	6	0.04		
	MCLS(川崎病)(注1)	0	0	0	2	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	2,371	1,568	1,516	1,027	3.55	289	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	1	1	0	0.00	39	39
	流行性角結膜炎	16	18	20	16	0.41		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	6	5	5	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/3/5集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続して増加した。過去5年平均の同時期と比較して約2倍の値となっており、流行拡大に注意する必要がある。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、8週からほぼ横ばいであった。しかし過去の同時期と比較して依然高いレベルにあるので、今後の推移に注意が必要である。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は4週連続して減少した。過去5年平均の同時期と比較して2分の1未満の値であり、全国的にも減少傾向であることから、このまま終息に向かう可能性は高いと思われる。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:85名うち ロタウイルス 11名

目黒区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:9ヶ月男児、2歳女児はロタウイルスによる下痢。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年9週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1			15	3		1	3		
～11か月	1		1	111	9			46		
1歳	4	6	24	320	30	1		35	1	
2歳		3	18	213	23	1	1	2		1
3歳		4	37	204	29	1		3		
4歳		4	62	182	33		1	2		1
5歳		6	58	146	16		9			
6歳		6	58	151	13		3	1		
7歳		2	47	106	10	1	1			
8歳			25	95	11		1			
9歳			24	75	1		2			
10～14歳		1	34	151	5					
15～19歳			3	29						
20～29歳	5	1	39	208	2				3	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	11	33	430	2006	185	4	19	92	4	2
先週比	-3	-4	59	7	2	-11	-1	15	2	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		1		
～11か月		1	1	9		
1歳	1	1		45		
2歳	4			39		
3歳	5		1	51		1
4歳	4			73		
5歳	9	1		90		
6歳	5	1		96		
7歳	1			68		
8歳	2			58		
9歳				40		
10～14歳	6	1		134		
15～19歳				37		1
20～29歳				64		4
30～39歳				95		2
40～49歳				79		3
50～59歳				27		3
60～69歳				13		2
70～79歳				5		
80歳以上				3		
合計	37	6	2	1027		16
先週比	-7	-4	2	-489	-1	-4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年9週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		2
5歳		1
6歳		1
7歳		1
8歳		1
9歳		2
10～14歳		13
15～19歳		30
20～29歳	1	37
30～39歳		8
40～49歳		2
50～59歳		3
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	103

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年9週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田			1	17	1					
中央区			1	31				2		
みなと	6		16	125	14			5		
新宿区	1		6	51	4			1		
文京			3	36	3			2		
台東			7	45	5			4		
墨田区			9	28			1	4		
江東区			11	142	7			3		
品川区		2	5	123	2	1	2	2		
目黒区		1		29	1			1		
大田区		5	35	171	20		1	2		
世田谷		2	8	119	3		1	5		
渋谷区			5	51	1	1		3		
中野区			8	56	10			2		
杉並		1	45	45	4		1	4		
池袋				21	1			1		
北区		1	3	54	6			3		
荒川区		6	31	16			1	1	2	
板橋区			1	43	5			3	2	
練馬区		1	6	62	7			6		
足立		1	8	48	4		2	3		
葛飾区		1	10	36	13		1	7		
江戸川	1	1	33	91	5		2	3		1
八王子市	1	4	42	132	15		1	6		
西多摩			14	55	6			2		
南多摩			14	38	8		1	4		1
町田			74	148	17		3	5		
多摩立川			5	32				1		
多摩府中		1	5	64	2	2	1	2		
多摩小平	2	6	24	97	21		1	5		
島しょ										
東京都合計	11	33	430	2,006	185	4	19	92	4	2

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2008年9週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		1		2		
中央区				13		3
みなと				15		
新宿区				27		1
文京				27		
台東				13		
墨田区				20		1
江東区	3			23		
品川区	1			14		
目黒区				7		
大田区	1			57		
世田谷	6			77		
渋谷区				8		
中野区	2			24		
杉並	1			45		
池袋			1	21		
北区	1			21		1
荒川区	3			8		
板橋区				36		2
練馬区	2			44		3
足立	6			27		
葛飾区				57		
江戸川	2			62		
八王子市		1	1	17		3
西多摩				80		1
南多摩	1			21		
町田	3	1		40		
多摩立川				32		
多摩府中	3	1		105		
多摩小平	2	2		84		1
島しょ						

東京都合計	37	6	2	1,027	-	16
-------	----	---	---	-------	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		2
みなと		1
新宿区		3
文京		3
台東		
墨田区		1
江東区		4
品川区		5
目黒区		3
大田区		11
世田谷		9
渋谷区		1
中野区		8
杉並		5
池袋		2
北区		1
荒川区		
板橋区		4
練馬区	1	5
足立		3
葛飾区		5
江戸川		2
八王子市		4
西多摩		6
南多摩		3
町田		1
多摩立川		1
多摩府中		9
多摩小平		1
島しょ		

東京都合計	1	103
-------	---	-----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年9週

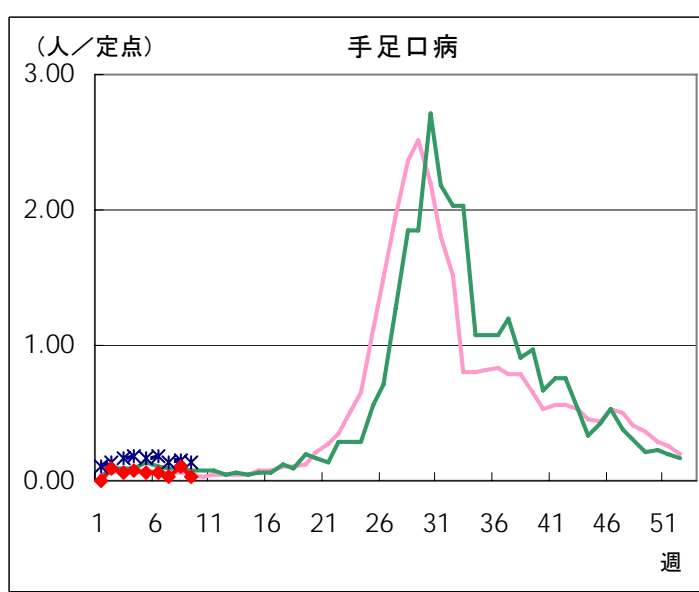
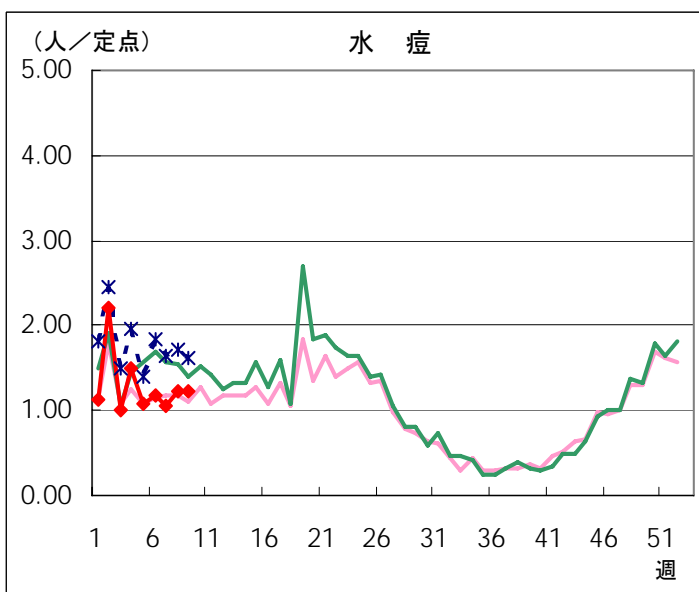
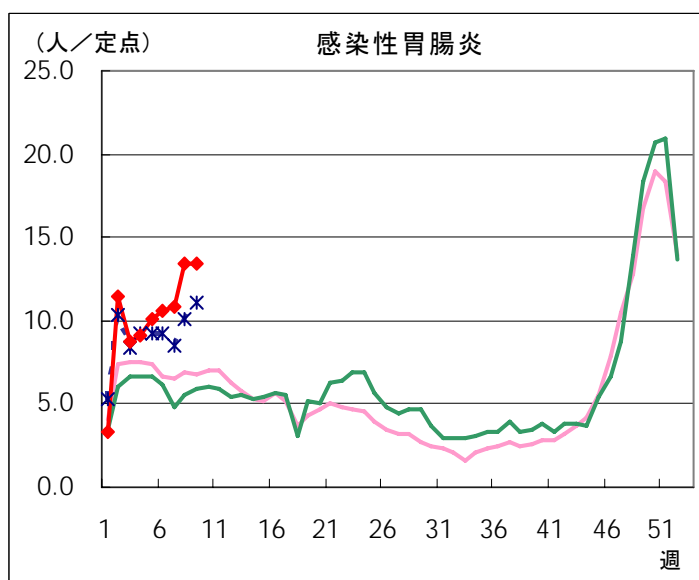
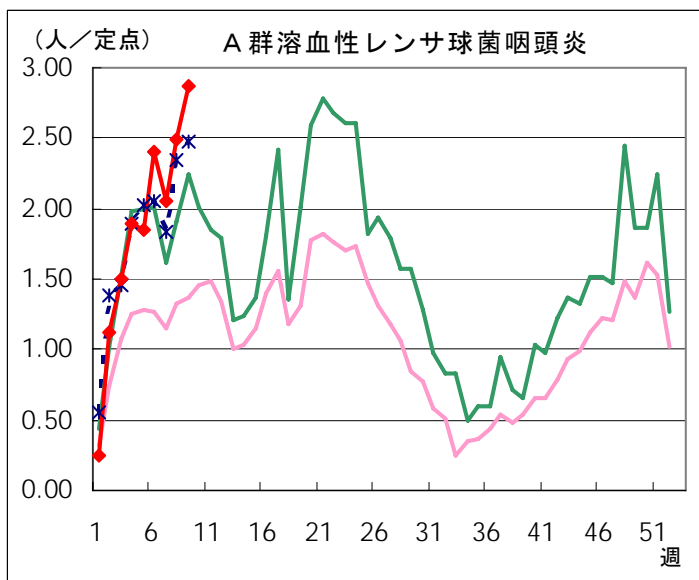
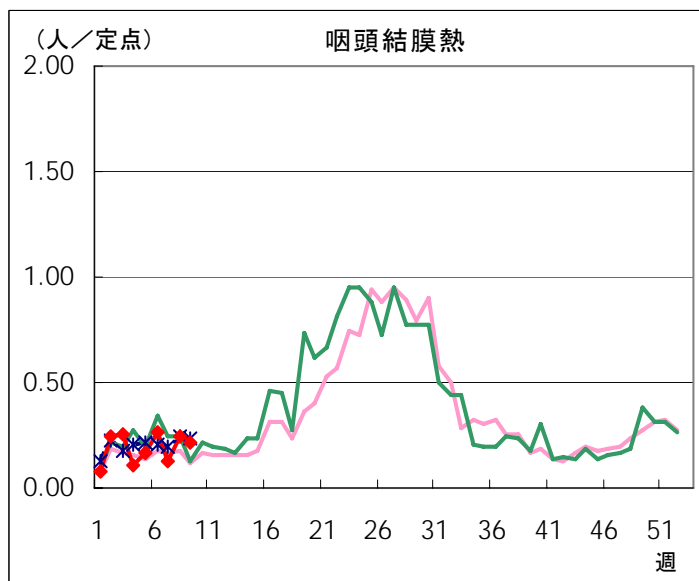
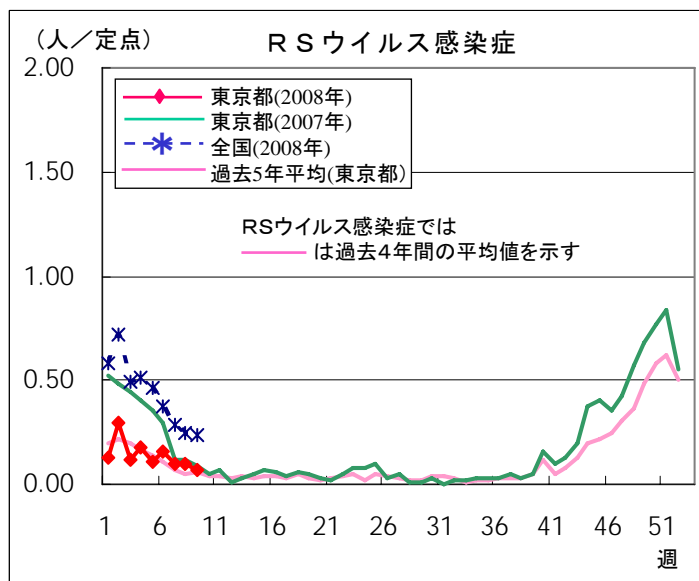
定点種別	小児科										小児科	
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	不明発しん症
千代田			0.25	4.25	0.25							0.25
中央区			0.33	10.33				0.67				
みなと	1.00		2.67	20.83	2.33			0.83				
新宿区	0.17		1.00	8.50	0.67			0.17				
文京			1.00	12.00	1.00			0.67				
台東			2.33	15.00	1.67			1.33				
墨田区			3.00	9.33			0.33	1.33				
江東区			2.75	35.50	1.75			0.75			0.75	
品川区		0.33	0.83	20.50	0.33	0.17	0.33	0.33			0.17	
目黒区		0.33		9.67	0.33			0.33				
大田区		0.56	3.89	19.00	2.22		0.11	0.22			0.11	
世田谷		0.25	1.00	14.88	0.38		0.13	0.63			0.75	
渋谷区			1.25	12.75	0.25	0.25		0.75				
中野区			1.33	9.33	1.67			0.33			0.33	
杉並		0.17	7.50	7.50	0.67		0.17	0.67			0.17	
池袋				4.20	0.20			0.20				
北区		0.25	0.75	13.50	1.50			0.75			0.25	
荒川区		3.00	15.50	8.00			0.50	0.50	1.00		1.50	
板橋区			0.17	7.17	0.83			0.50	0.33			
練馬区		0.20	1.20	12.40	1.40			1.20			0.40	
足立		0.20	1.60	9.60	0.80		0.40	0.60			1.20	
葛飾区		0.25	2.50	9.00	3.25		0.25	1.75				
江戸川	0.20	0.20	6.60	18.20	1.00		0.40	0.60		0.20	0.40	
八王子市	0.25	1.00	10.50	33.00	3.75		0.25	1.50				0.25
西多摩			2.80	11.00	1.20			0.40				
南多摩			3.50	9.50	2.00		0.25	1.00		0.25	0.25	
町田			18.50	37.00	4.25		0.75	1.25			0.75	0.25
多摩立川			0.83	5.33				0.17				
多摩府中		0.10	0.50	6.40	0.20	0.20	0.10	0.20			0.30	0.10
多摩小平	0.33	1.00	4.00	16.17	3.50		0.17	0.83			0.33	0.33
島しょ												
東京都	0.07	0.22	2.87	13.37	1.23	0.03	0.13	0.61	0.03	0.01	0.25	0.04

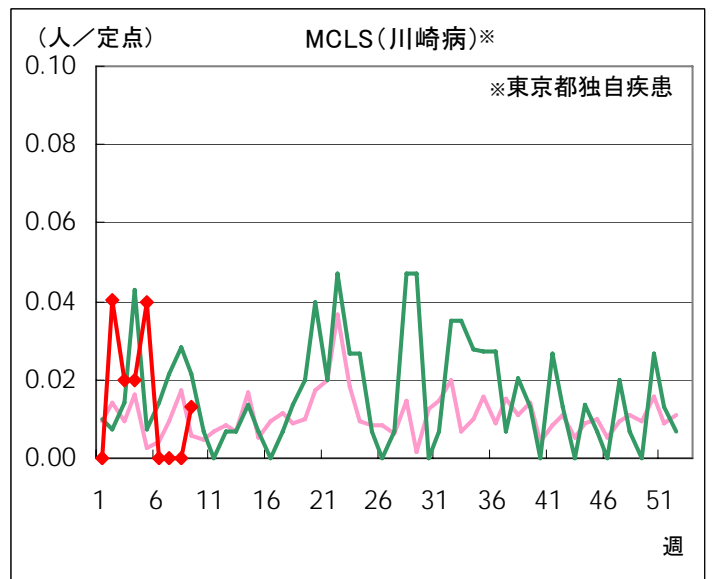
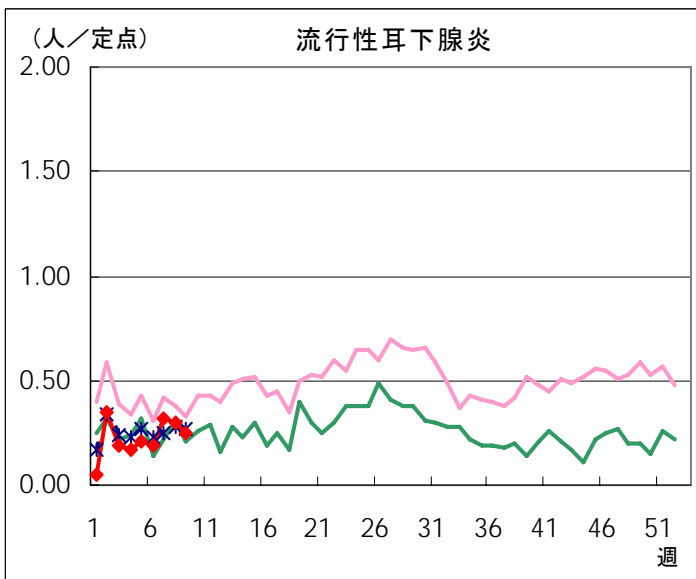
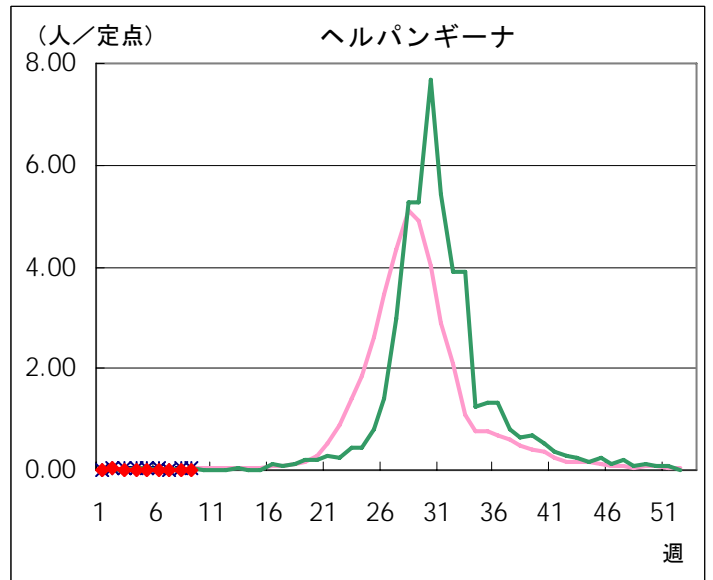
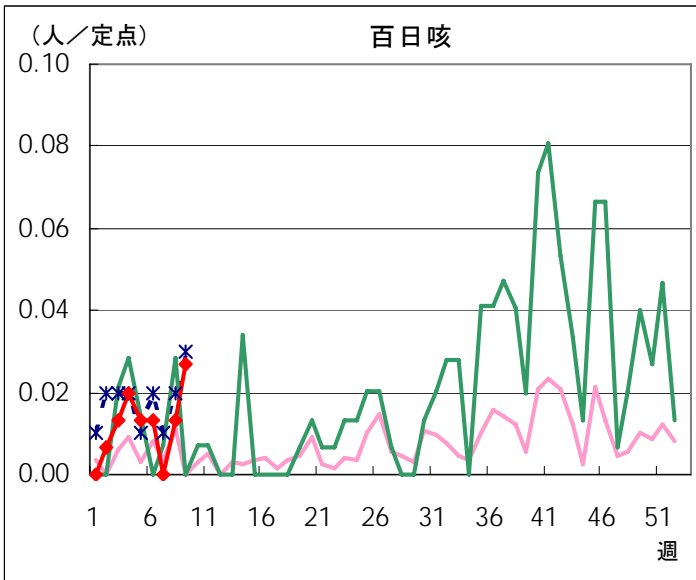
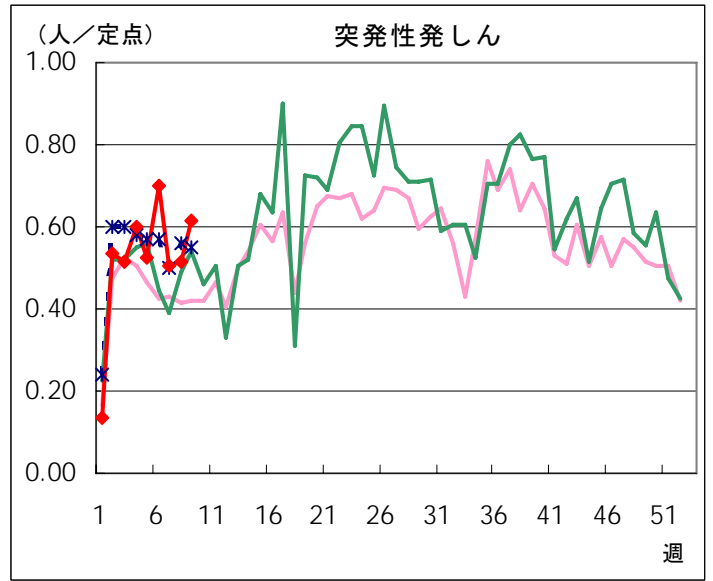
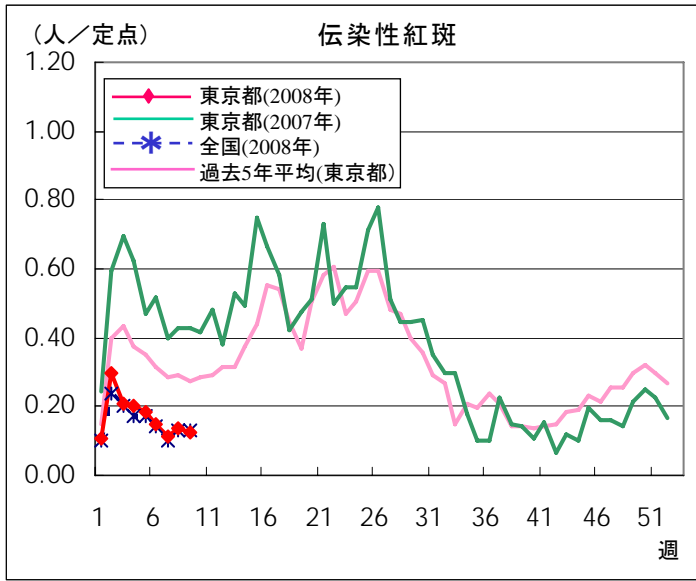
定点種別	MCLS (川崎病)	インフルエンザ	眼科	
		インフルエ ンザ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎
千代田		0.40		
中央区		3.25		3.00
みなと		1.88		
新宿区		3.00		0.50
文京		5.40		
台東		2.60		
墨田区		3.33		1.00
江東区		2.56		
品川区		1.40		
目黒区		1.17		
大田区		3.56		
世田谷		5.13		
渋谷区		1.33		
中野区		2.67		
杉並		3.75		
池袋	0.20	2.63		
北区		2.63		1.00
荒川区		2.00		
板橋区		3.00		1.00
練馬区		3.67		1.50
足立		2.25		
葛飾区		6.33		
江戸川		5.17		
八王子市	0.25	1.70		1.50
西多摩		8.89		1.00
南多摩		2.33		
町田		4.44		
多摩立川		2.46		
多摩府中		5.00		
多摩小平		6.00		0.50
島しょ				

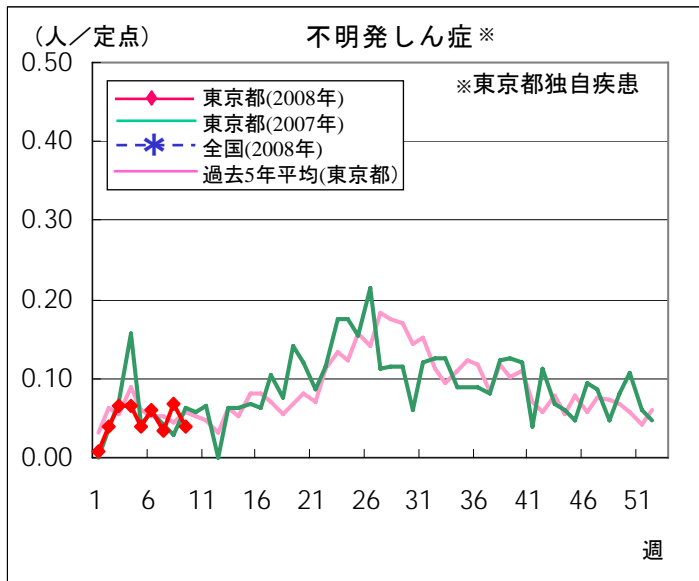
東京都	0.01	3.55	-	0.41
-----	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年9週現在

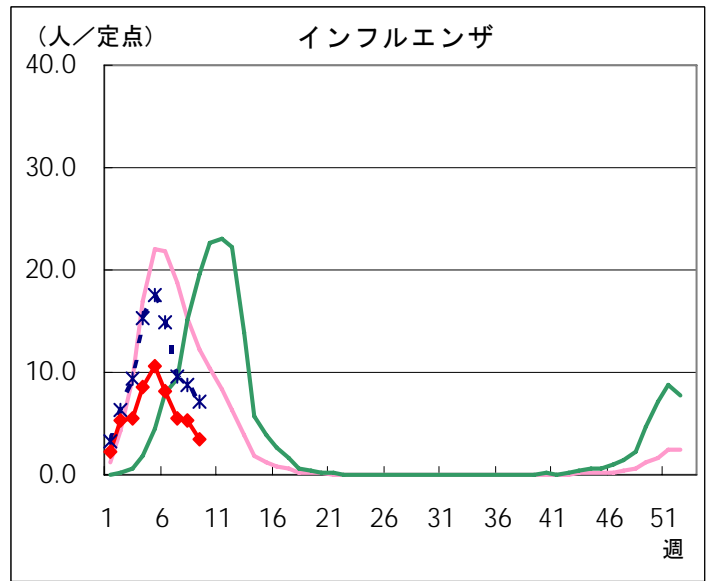
◆ 小児科定点



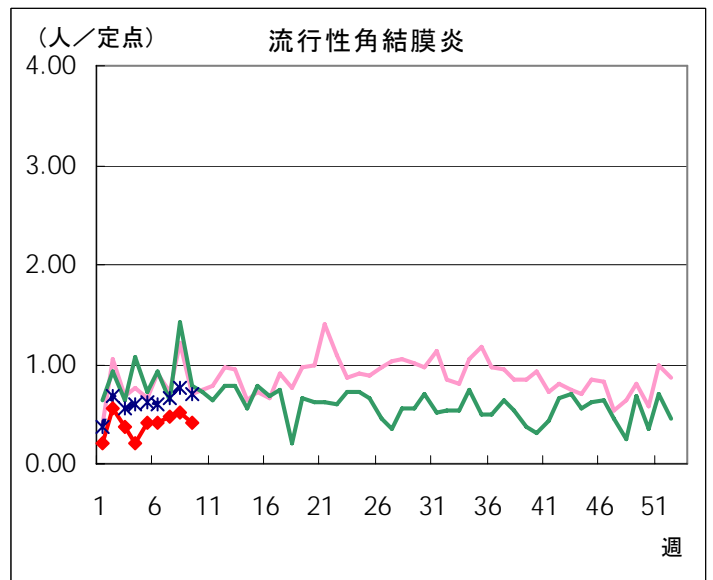
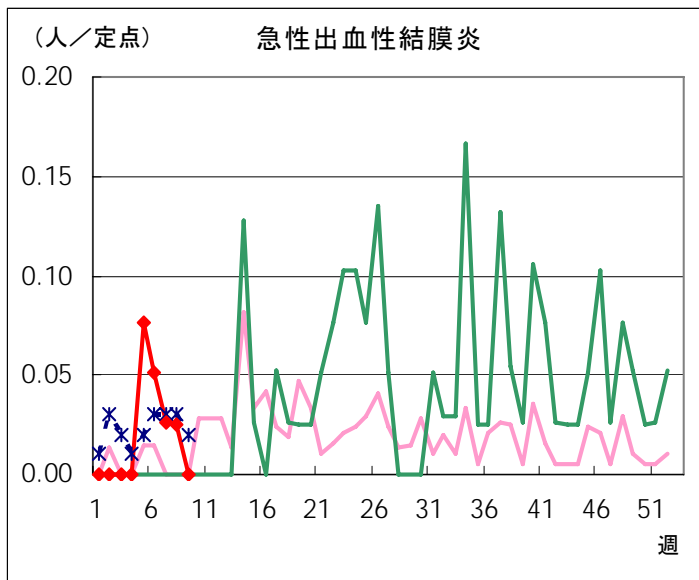




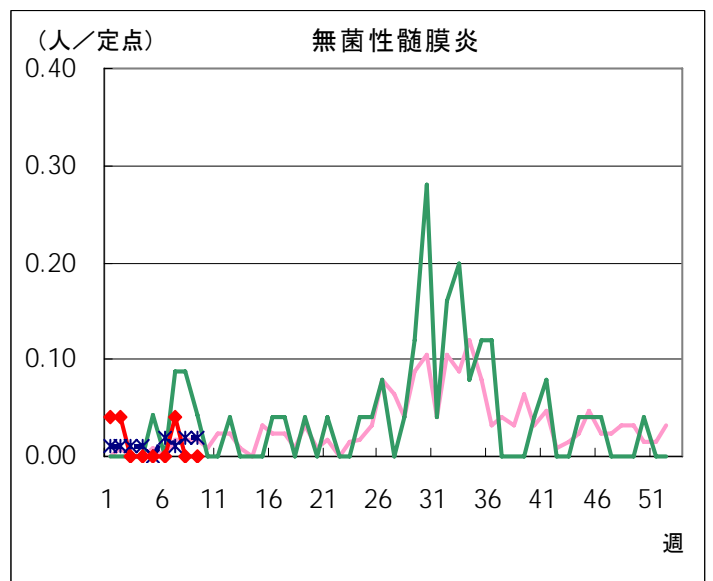
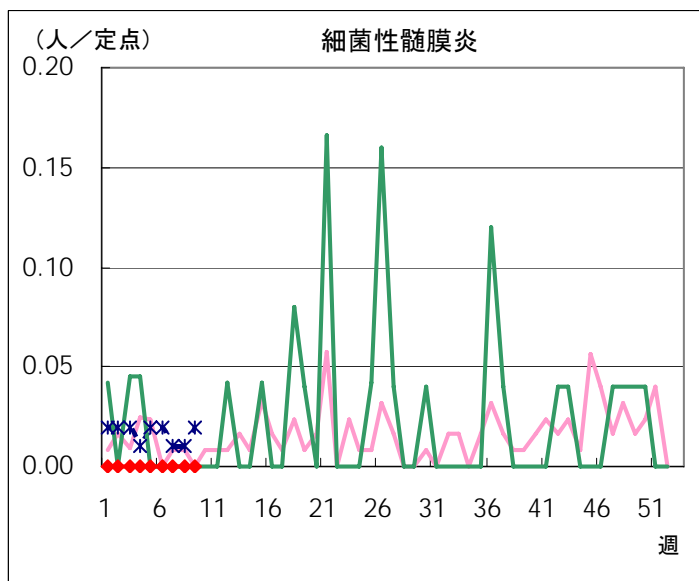
◆ インフルエンザ定点

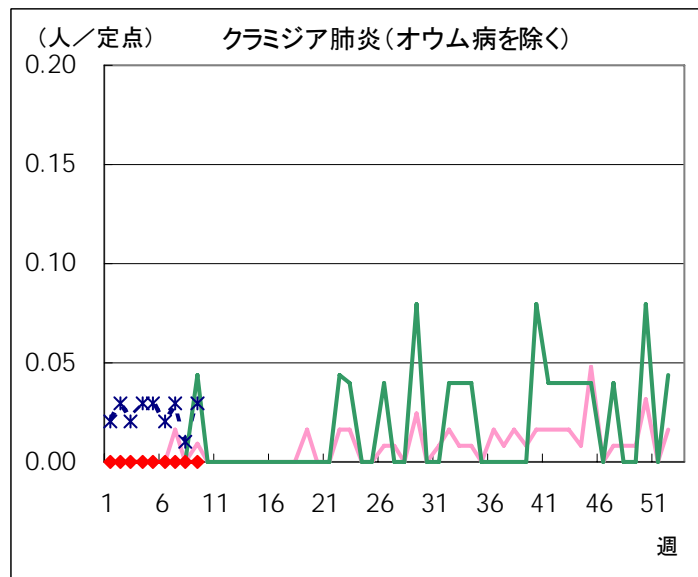
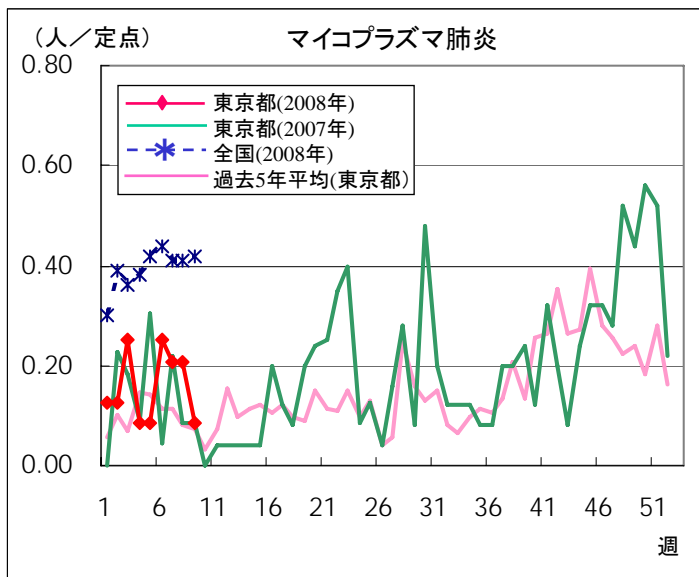


◆ 眼科定点

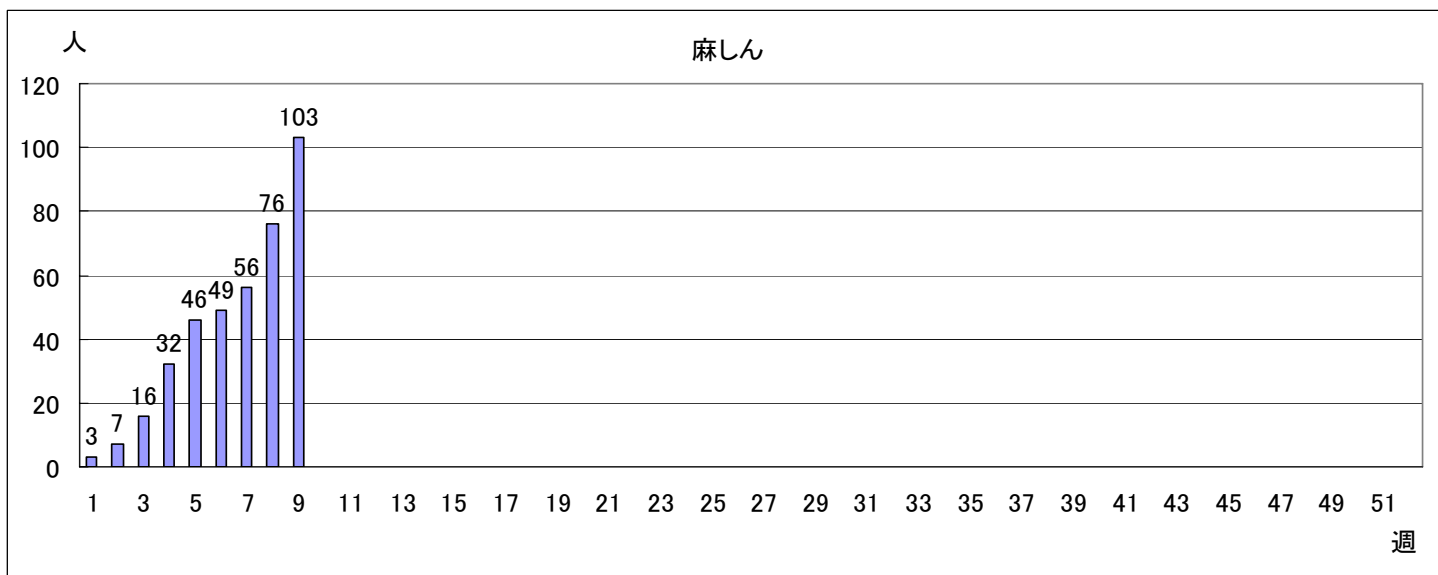


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年9週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	10		
新宿区	7		
	1	4	
墨田区	1	2	B型は今シーズン初めての報告です。
	6	5	
品川区	3		
目黒区	2		
	3		
	2		
大田区	1	3	ワクチン接種者2名、未接種者1名。
	5		
	10	1	
	3		
		1	
世田谷			近隣幼稚園の年長組で数人が罹患し、閉鎖した様子。 患者12名、A型は6人。
	2	2	
	2		
	6		
	2		
中野区	4		溶連菌感染症の同時感染でした。 週始めに中学生の罹患者が多かったのでドッキリしましたが、増加傾向は見られませんでした。
	1		
	2	1	
	6		
	4	1	
	1		
池袋	1		
	2		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	9	1	
		1	
	2 2		
板橋区	1		
足立	1		
西多摩		2	7歳男児ワクチン1回接種済み、20歳代女性ワクチン未接種。 患者6名、B型は2名。
		2	
	13		
	3	1	
多摩立川		2	患者3名、B型は男性2名。 患者2名、B型は女性1名。
		2	
		1	
	3		
多摩府中			患者4名、タミフル使用者3名、タミフル不使用者1名、神経精神症状なし。 インフルエンザらしい症例は、この時期、例年になく殆ど見られない。
多摩小平	12		
	9	1	
	5		
	6	3	
	3	1	
	7		
八王子市	4		
	9		
	1		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/15	喘息様気管支炎	0	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
2/18	感染症 下痢 嘔吐	33	直腸拭い液	ノロウイルス	
2/18	インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/18	インフルエンザ	23	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/18	インフルエンザ	34	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/19	気管支炎	11	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/19	急性胃腸炎	11M	直腸拭い液	ロタウイルス	抗原
2/19	急性咽頭炎	11M	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
2/19	ウイルス性発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 ライノウイルス	
2/19	感染性下痢嘔吐症	24	直腸拭い液	ノロウイルス	
2/19	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/19	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/20	熱性けいれん	記載無し	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
2/20	インフルエンザ	10M	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型 エンテロウイルス	
2/20	インフルエンザ	13	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/20	インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/21	顎下腺腫脹	6	咽頭拭い液	EBウイルス ムンプスウイルス	
2/22	下痢症	10M	糞便	アデノウイルス	

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2007/2008年							
		52+1	2	3	4	5	6	7	8
ウイルス	アデノウイルス	1	2	3	5	5	9	6	2
	ライノウイルス	3	2	2	2	2	2	7	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス		1			1	5	2	1
	単純ヘルペスウイルス	1		1				2	
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1		2		1	4	4	2
	EBウイルス	1		3	1	2	2	1	1
	サイトメガロウイルス	1							
	ムンプスウイルス			2	1		1	2	1
	麻疹ウイルス						1		
	風疹ウイルス							1	
	パルボウイルスB19						1	1	
	RSウイルス	3	8			3	1	1	
	ノロウイルス	4	5	3	3	2	4	2	2
	ロタウイルス			2	1	1	1	2	1
	インフルエンザウイルスAH1	8	25	13	10	18	19	5	9
	インフルエンザウイルスAH3		1		1	3	2	1	
	インフルエンザウイルスB							5	
デングウイルス									
その他のウイルス	2			1			1		
細菌	カンピロバクター						1		
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2007年52週～2008年8週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	163	20	46	77	24	1		10		1	1	18	13		1		117	
ウイルス	アデノウイルス	4	6	3	5			2			1	5	1				6	
	ライノウイルス	1	3	5								2	2				9	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	1		4					1			1					2
	単純ヘルペスウイルス			1														3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7				1							5						8
	EBウイルス												8					3
	サイトメガロウイルス																	1
	ムンプスウイルス													7				
	麻疹しんウイルス												1					
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19												2					
	RSウイルス	2	3	11														
	ノロウイルス				24													1
	ロタウイルス				8													
インフルエンザウイルスAH1	104		3															
インフルエンザウイルスAH3	7	1																
インフルエンザウイルスB	3		1														1	
デングウイルス																		
その他のウイルス			2	2														
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌																		
その他の病原体																		